



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年5月12日（火）

愛知県政策企画局

国際課国際戦略グループ

担当 野村、中井

内線 2448、2399

ダイヤル 052-954-6130

知事の米国渡航中の行事結果について

2026年5月11日（月）午後、知事は米国テキサス州アーリントン市において、ピーター・サカイ ベアー郡長官と面談後、「日本テキサス経済サミット」のウェルカムレセプションに参加しました。その後、マーティン・ウィーダー アーリントン市経済開発公社専務理事と面談しました。

【日本テキサス経済サミット 概要】

主 催：米日カウンシル

期 間：2026年5月11日（月）～5月13日（水）（3日間）

会 場：ライブ・バイ・ロウズ ホテル（アーリントン市）

内 容：日本とテキサス州の間における経済協力とイノベーションの推進を目的とした国際イベント。知事は、サミット2日目のオープニングプレナリーに参加し、これまでの愛知県とテキサス州の交流内容や愛知県企業によるテキサス州経済への貢献等について発信する。

1 ベアー郡 ピーター・サカイ長官との面談

（担当課：国際課）

（1）日時

2026年5月11日（月）午後3時55分から午後4時30分まで

（日本時間5月12日（火）午前5時55分から午前6時30分まで）

（2）場所

ライブ・バイ・ロウズ ホテル（アーリントン市）

（3）面談者

ベアー郡 ピーター・サカイ長官

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、ベアー郡のサカイ長官と面談しました。

大村知事は、昨年9月にサカイ長官が愛知県に来県して以来、今回が5回目の面談となることの喜びを伝えるとともに、「愛知県とテキサス州は10年前、2016年4月にグレッグ・アボット知事と私とで『友好交流及び相互協力に関する覚書（MOU）』を締

結した。2024年7月にはこれまでのMOUをアップデートして、新たに相互協力声明(SMC)に署名し、スタートアップ支援、医療、青少年交流を始め様々な分野で交流を重ねてきている。」と話すとともに、2019年から行っているテキサス大学オースティン校とのスタートアップの育成における連携やSXSWへの本県学生の出展、MDアンダーソンがんセンターとの連携など、両県州の交流事業について説明しました。

また、大村知事は、「トヨタ自動車を始めとする愛知県企業がテキサス州に進出し、経済に貢献していることを誇りに思っている。日米同盟は世界で最も重要な二国間関係の一つであり、アジア・太平洋の平和と安定、世界経済の発展・繁栄にとって重要な関係である。愛知県としても、テキサス州と、そしてアメリカとの交流を深めていきたい。またテキサス州と愛知県の発展と交流を深めるためにも、中部国際空港とダラスフォートワース国際空港との間の直行便の就航が不可欠だが、まだ実現していないため御支援をお願いしたい。今後ともテキサス州の企業、学生にも愛知へ来ていただき、ビジネス、観光、教育・文化面で、両地域の大勢の人々が相互に行き交うことで、新たな交流が生まれるよう、win-winの関係を築いていきたいと思う。」と話しました。

さらに、大村知事は、「来月6月にはFIFAワールドカップがアメリカで開催され、ダラスで日本代表チームが2試合行う。応援をよろしく願います。また、今年の秋に愛知県ではアジア・アジアパラ競技大会を開催するため、盛り上がり期待している。愛知はHeart of Japanであり、テキサスはHeart of Americaである。これからも皆さんと連携し、愛知とテキサスの交流を一層深め、両地域の発展のために、力を尽くしていきたい。サカイ長官を始め皆様には是非愛知にお越しいただき、お会いできたらと思う。」と話しました。

これに対して、サカイ長官は、「大村知事にお会いできて光栄に思う。大村知事との友情関係に感謝しており、一緒に過ごしてきた時間を大切に思っている。また、学生の人的交流は長きにわたって着実に行われており、これも我々のパートナーシップの証であると思う。我々の近況は、テキサス大学サンアントニオ校とテキサス大学のヘルス・サイエンスセンターが最近合併し、これによりアメリカでもトップクラスの医療の教育機関が誕生したことになる。この合併は、日本との関係性をより深めるきっかけになると思う。私が日本に頻繁に行く理由の一つは、こういった大学等を通じて、バイオサイエンス・医療・テクノロジーといった分野において日米間での協力を進めるためでもある。また、大村知事はテキサスのアボット知事とは特別な友情関係にあり、さらには様々な市長との関係も深いと伺っている。私自身も、愛知県とこのような形で関係を深めることができ嬉しく思う。」と話しました。

最後に大村知事は、「是非また日本でお会いできればと思う。」と再会を約束しました。



サカイ長官との面談の様子



サカイ長官との記念撮影

2 日本テキサス経済サミットウェルカムレセプション

(担当課：国際課)

(1) 日時

2026年5月11日(月) 午後4時30分から午後6時まで
(日本時間5月12日(火) 午前6時30分から午前8時まで)

(2) 場所

ライブ・バイ・ロウズ ホテル (アーリントン市)

(3) 内容

日本テキサス経済サミットのウェルカムレセプションに参加し、米日カウンシルのフレデリック・H・カタヤマ副会長、アーリントン市のジム・ロス市長始め、会議に出席する企業関係者や地元自治体関係者の皆様と懇談しました。



ウェルカムレセプションの様子①



ウェルカムレセプションの様子②

3 アーリントン市経済開発公社 マーティン・ウィーダー専務理事との面談

(担当課：国際課)

(1) 日時

2026年5月11日(月) 午後6時から午後6時15分まで
(日本時間5月12日(火) 午前8時から午前8時15分まで)

(2) 場所

ライブ・バイ・ロウズ ホテル (アーリントン市)

(3) 面談者

アーリントン市経済開発公社 マーティン・ウィーダー専務理事

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、「日本テキサス経済サミット」のホストシティであるアーリントン市経済開発公社のウィーダー専務理事と面談しました。

まず初めに、ウィーダー専務理事は、「今回、日本テキサス経済サミットにお越しいただき感謝申し上げます。」と、サミットへの出席に対する感謝の意を表するとともに、「アーリントン市にはゼネラルモーターズの組立工場やベンダー、その他航空宇宙関連企業も多数存在しており、愛知県との共通点も多い。」と話しました。

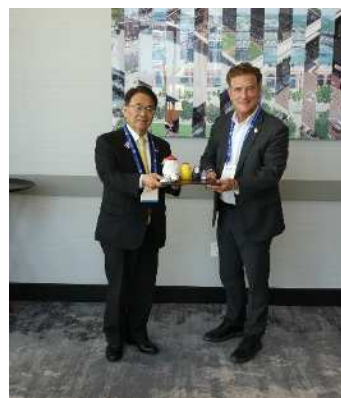
これに対し大村知事は、「第1回日本テキサス経済サミットは8年前にヒューストンで開催され、今回の開催が2回目となるが、今後も定期的に行われることを期待する。」と述べるとともに、「愛知県とテキサス州は2016年4月に『友好交流及び相互協力に関する覚書(MOU)』を締結し、10年に渡り、経済交流、医療、青少年交流など、とても交流が盛んである。また、テキサス州にはトヨタ自動車を始めとする愛知県企業32社が進出しており、テキサス州の経済に大きく貢献していることを誇りに思う。」と発言しました。

さらに大村知事は、「今後も愛知県とテキサス州との関係をさらに強化していくために、中部国際空港とダラスフォートワース国際空港を結ぶ直行便の就航が重要である。ぜひアーリントン市の皆様にもお力添えいただきたい。」と発言しました。これに対し、ウィーダー専務理事は、「直行便の重要性については同感である。市長や市議会議員などにも相談して、サポートさせていただく。」と応じました。

最後に大村知事は、「愛知県は Heart of Japan であり、テキサス州は Heart of America である、これからも皆様と一緒に交流を深めていくために力を尽くしていきたい。」と話し、面談を締めくくりました。



ウィーダー専務理事との面談の様子



ウィーダー専務理事との記念撮影